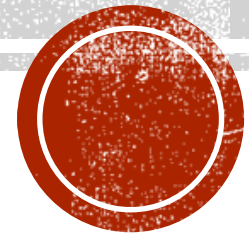


令和2年度 携帯電話等の利用状況アンケート 【 保護者アンケート結果 】



徳島県教育委員会 人権教育課 いじめ問題等対策室

アンケート対象【保護者】

小学校	11校	回答者数	671人（6年生保護者）
中学校	7校	回答者数	645人（2年生保護者）
高等学校	4校	回答者数	660人（2年生保護者）
特別支援学校	11校	回答者数	186人（高等部生保護者）

総回答者数 2,162人

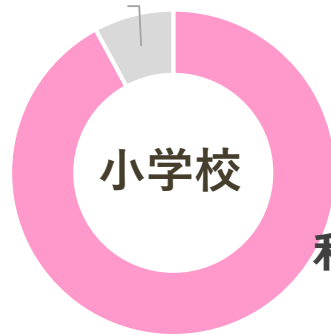
※小・中・高等学校については、依頼校の対象学年の保護者全員にアンケートを実施
特別支援学校については、高等部在籍者のうち学校に携帯電話を持ち込んでいる生徒の保護者にアンケートを実施

※全国調査数値については、内閣府の令和元年度青少年のインターネット利用環境実態調査結果を参照

インターネットの利用

利用していない

7.9%



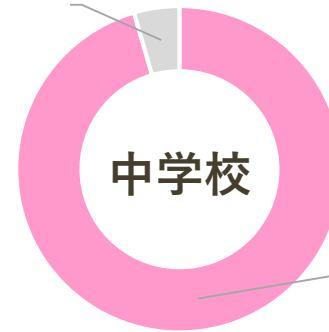
小学校

利用している

92.1%

利用していない

4.5%



中学校

利用している

95.5%

多くの家庭において
児童生徒の
年齢に関係なく
インターネットを
利用している。

利用していない

2.0%



高等学校

利用している

98.0%

利用していない

5.4%



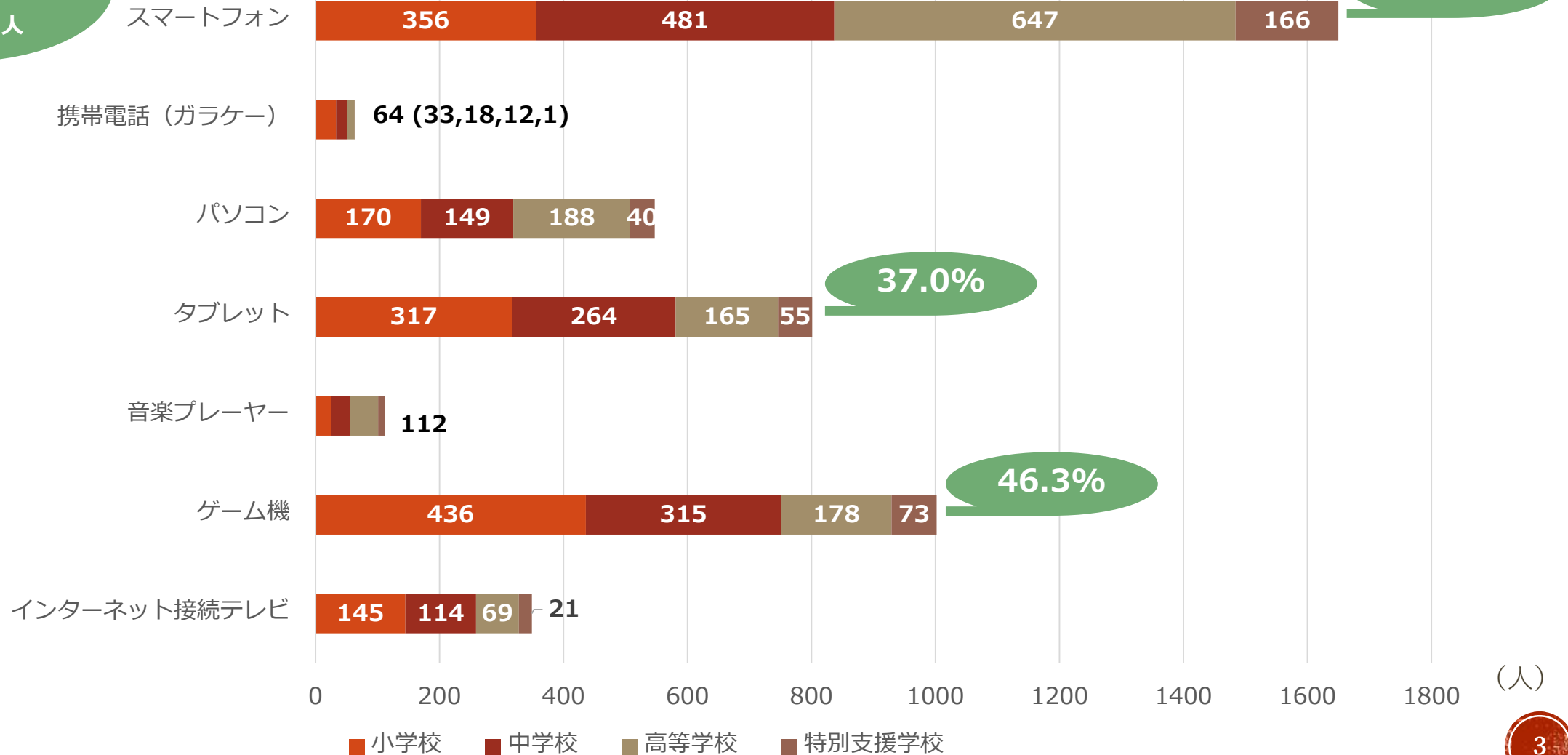
特別支援
学校

利用している

94.6%

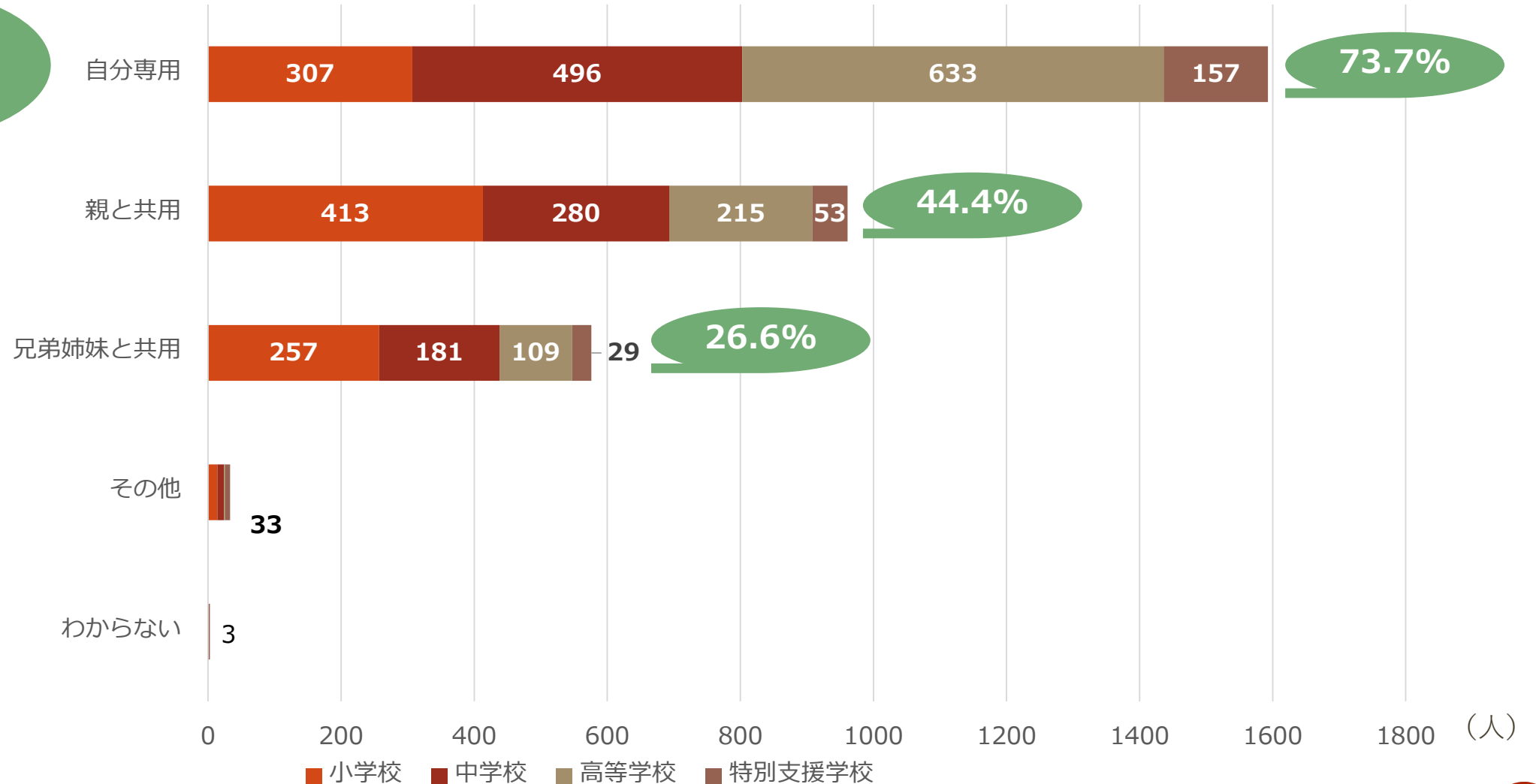
インターネットの利用機器（＊複数回答可）

小・中・高・特支
保護者 総数
2162人



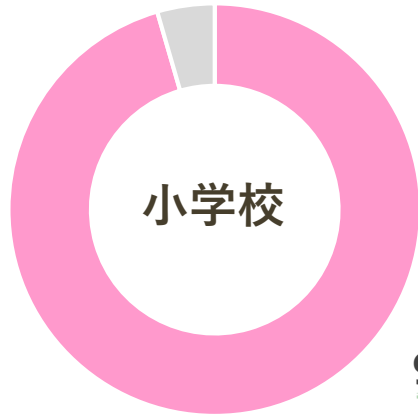
利用機器の所有状況（＊複数回答可）

小・中・高・特支
保護者 総数
2162人



家庭のWi-Fi環境

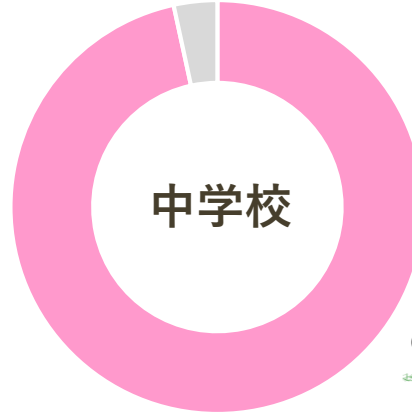
ない 4.5%



ある

95.5%

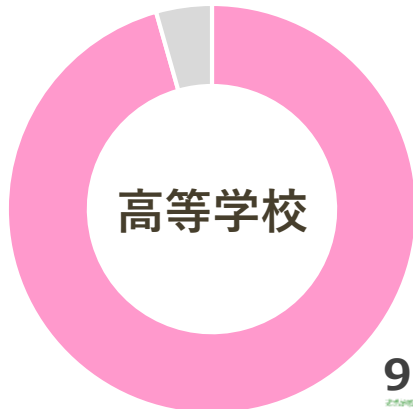
ない 3.4%



ある

96.6%

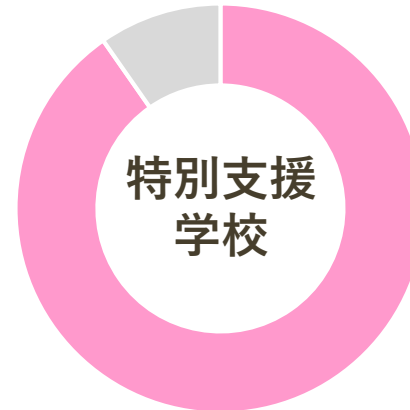
ない 4.4%



ある

95.6%

ない 9.7%



ある

90.3%

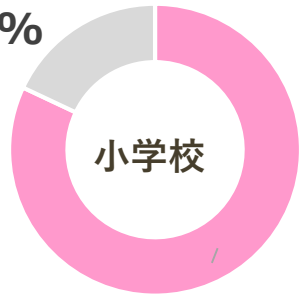
多くの家庭において
Wi-Fi環境が
整っている

全校種平均
《 95.4% 》

インターネット利用に関する家庭のルール

決めていない

18.0%

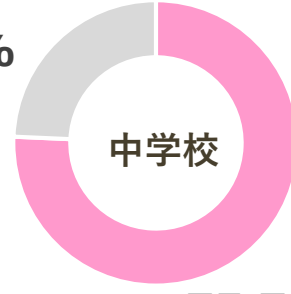


決めています 82.0%

全国保護者:88.3%

決めていない

24.3%

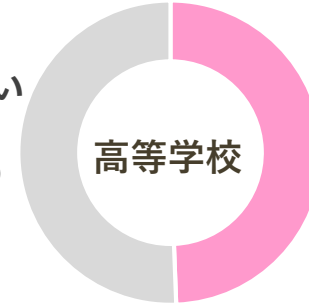


決めています 75.7%

全国保護者:80.4%

決めていない

50.6%



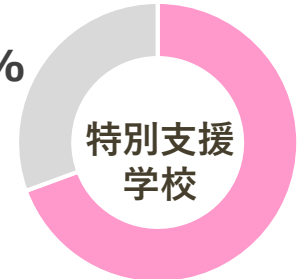
決めています

49.4%

全国保護者:62.6%

決めていない

30.6%



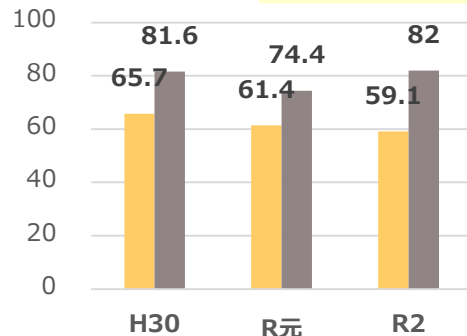
決めています 69.4%

【3か年比較】

全国比較: **高校生**のルール設定率が**低い**

小学校

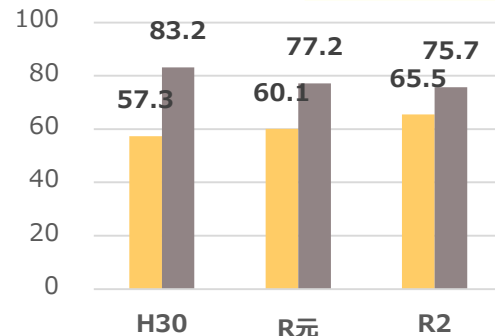
全国児童:77.7%
保護者:88.3%



■ 児童 ■ 保護者

中学校

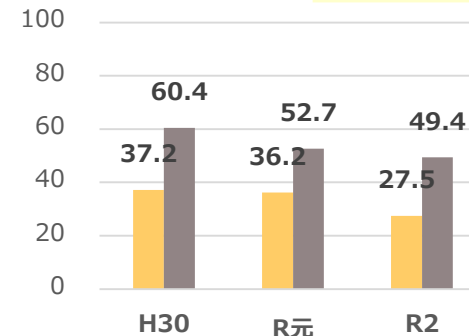
全国生徒:63.6%
保護者:80.4%



■ 生徒 ■ 保護者

高等学校

全国生徒:38.6%
保護者:62.6%



■ 生徒 ■ 保護者

小学生保護者 82.0%

中学生保護者 75.7%

高校生保護者 49.4%

特別支援学校生保護者

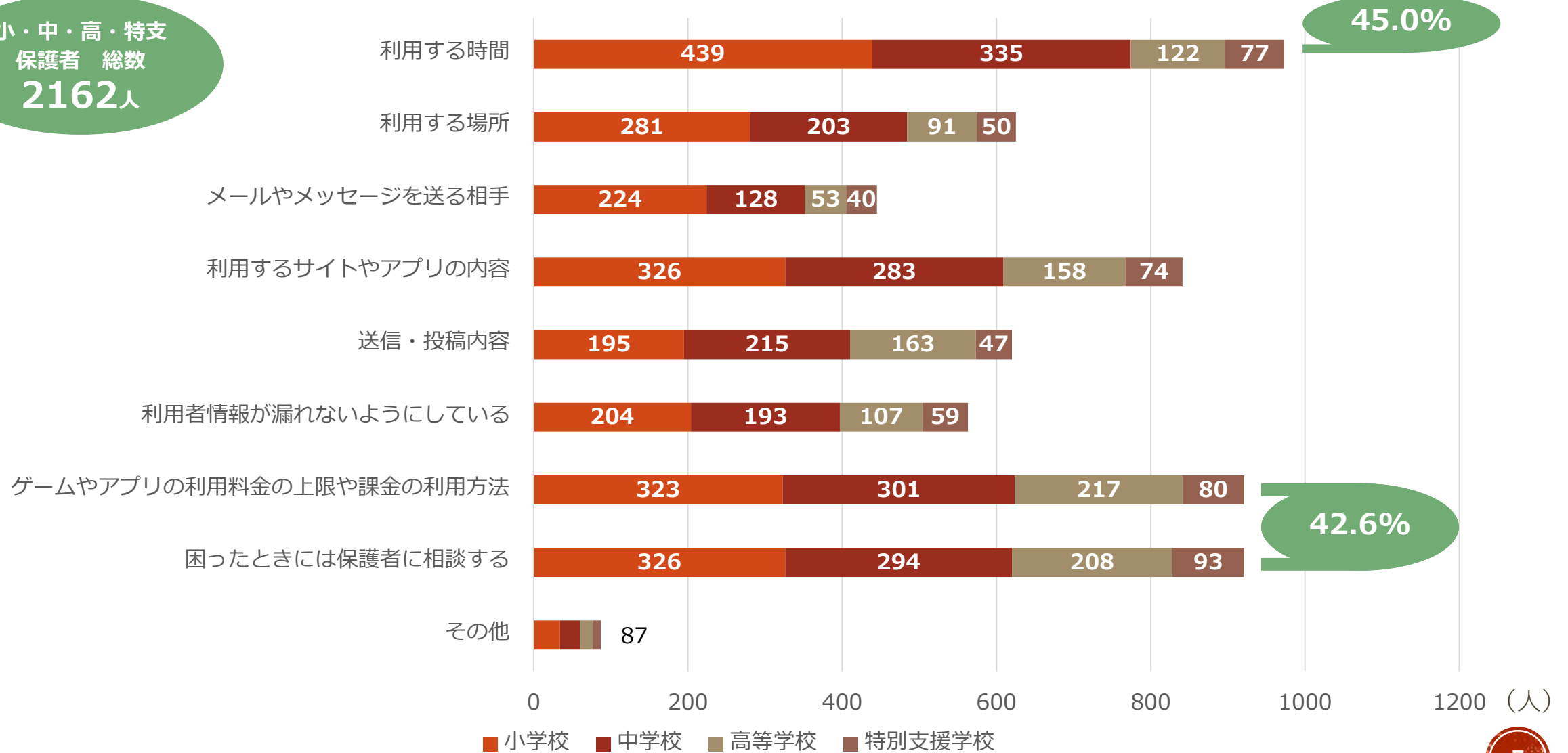
69.4%

年齢が上がるとルール減少

児童生徒と保護者の
ルールに関する意識の差
あり

家庭のルール内容（＊複数回答可）

小・中・高・特支
保護者 総数
2162人



保護者としての取組（＊複数回答可）

小・中・高・特支
保護者 総数
2162人

大人の目の届く範囲で使わせている

445 287 101 68

41.7%

全国保護者:35.0%

利用する際に時間や場所を指定している

325 267 95 62

成長段階に合わせて、子供向けの機器やサービスを使わせている

178 156 115 36

全国保護者:39.6%

52.7%

普段の会話やコミュニケーションの中で、子どもの利用状況を把握している

395 330 332 83

フィルタリングを使っている

215 290 240 90

38.6%

全国保護者:37.4%

その他の方法で管理を行っている

72 79 30 28

子どもの携帯電話やインターネットの管理は行っていない

37 26 109 12

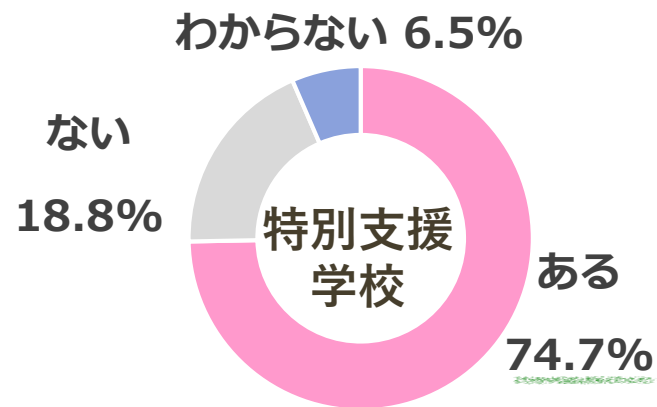
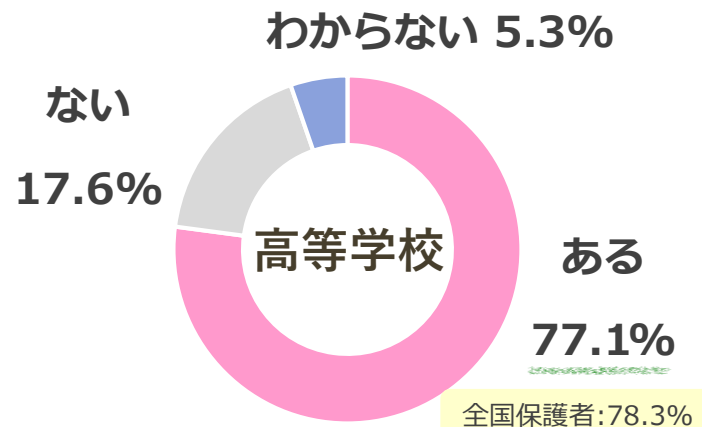
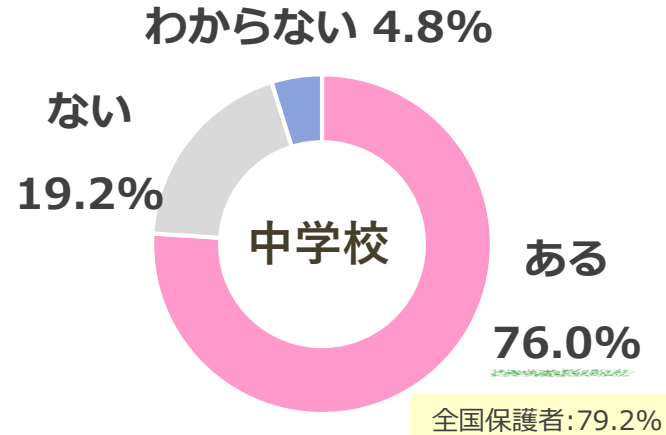
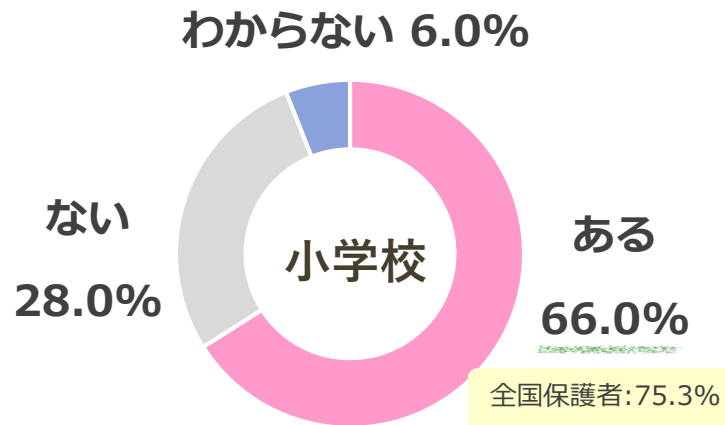
わからない

45

0 200 400 600 800 1000 1200 (人)

■ 小学校 ■ 中学校 ■ 高等学校 ■ 特別支援学校

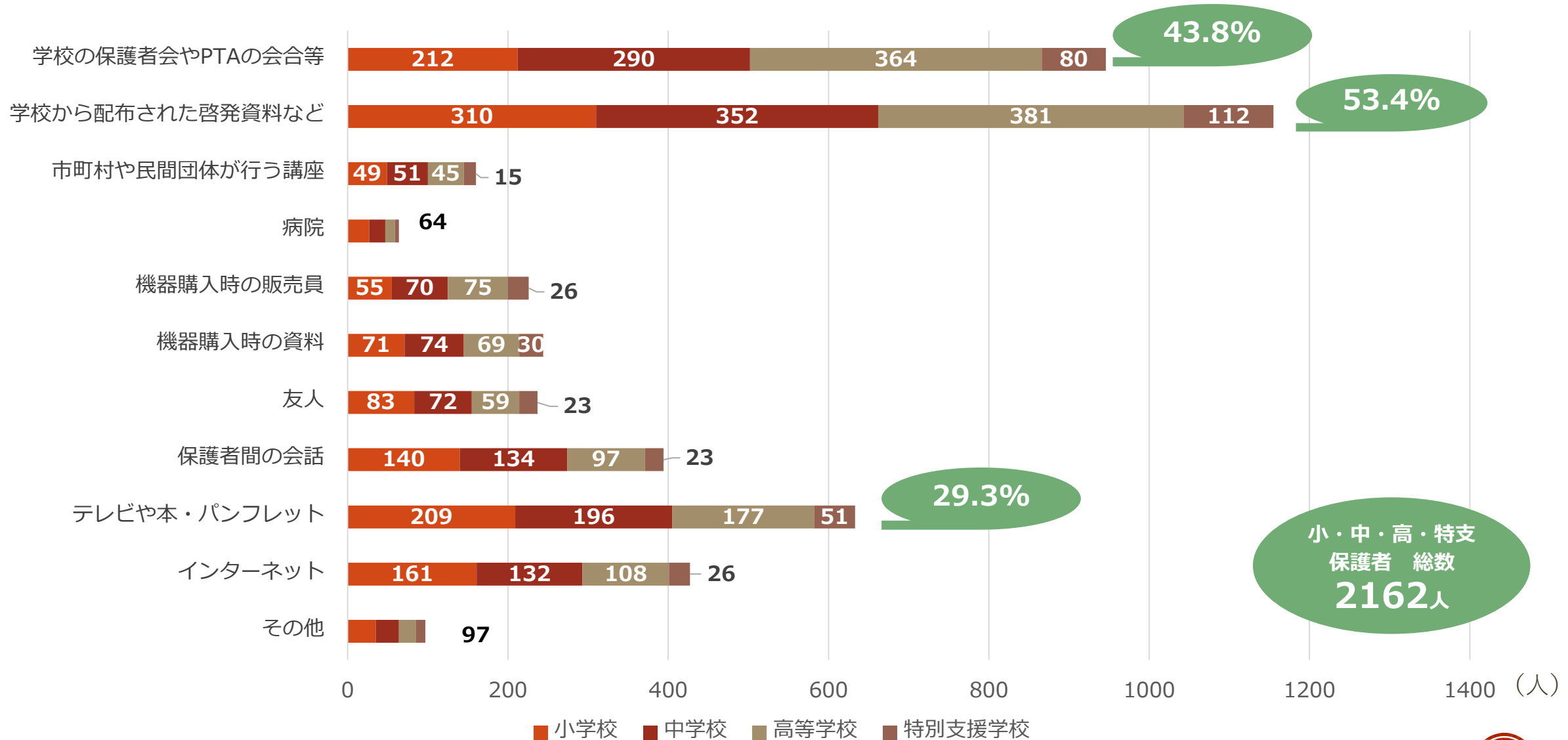
インターネットの危険性を知る機会①



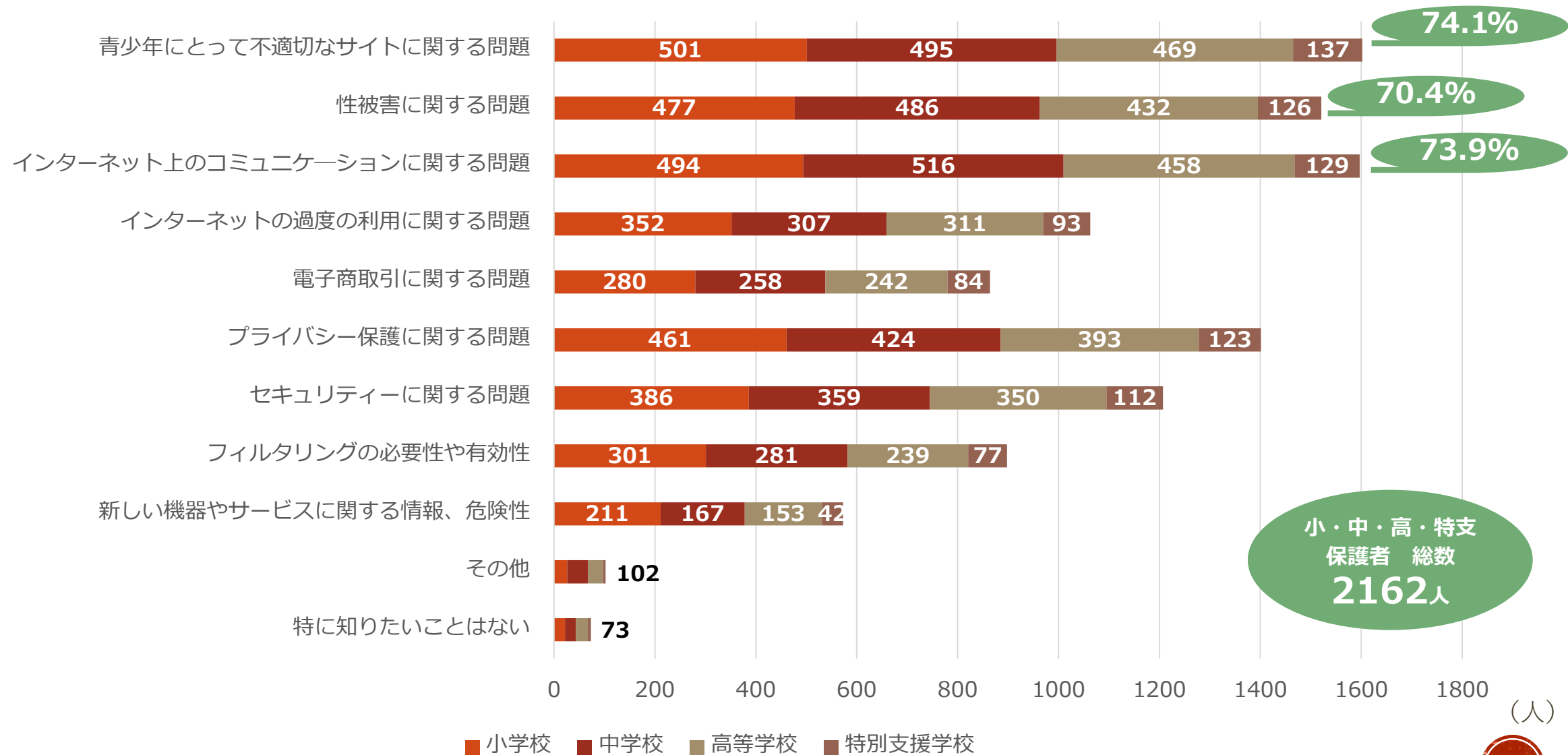
小学生の保護者の
危険性を知る機会が
ない・わからない
あわせて34.0%

中・高・特別支援（高）
の全保護者の約24.0%
が危険性を知る機会が
ない・わからない
と回答

インターネットの危険性を知る機会②（＊複数回答可）

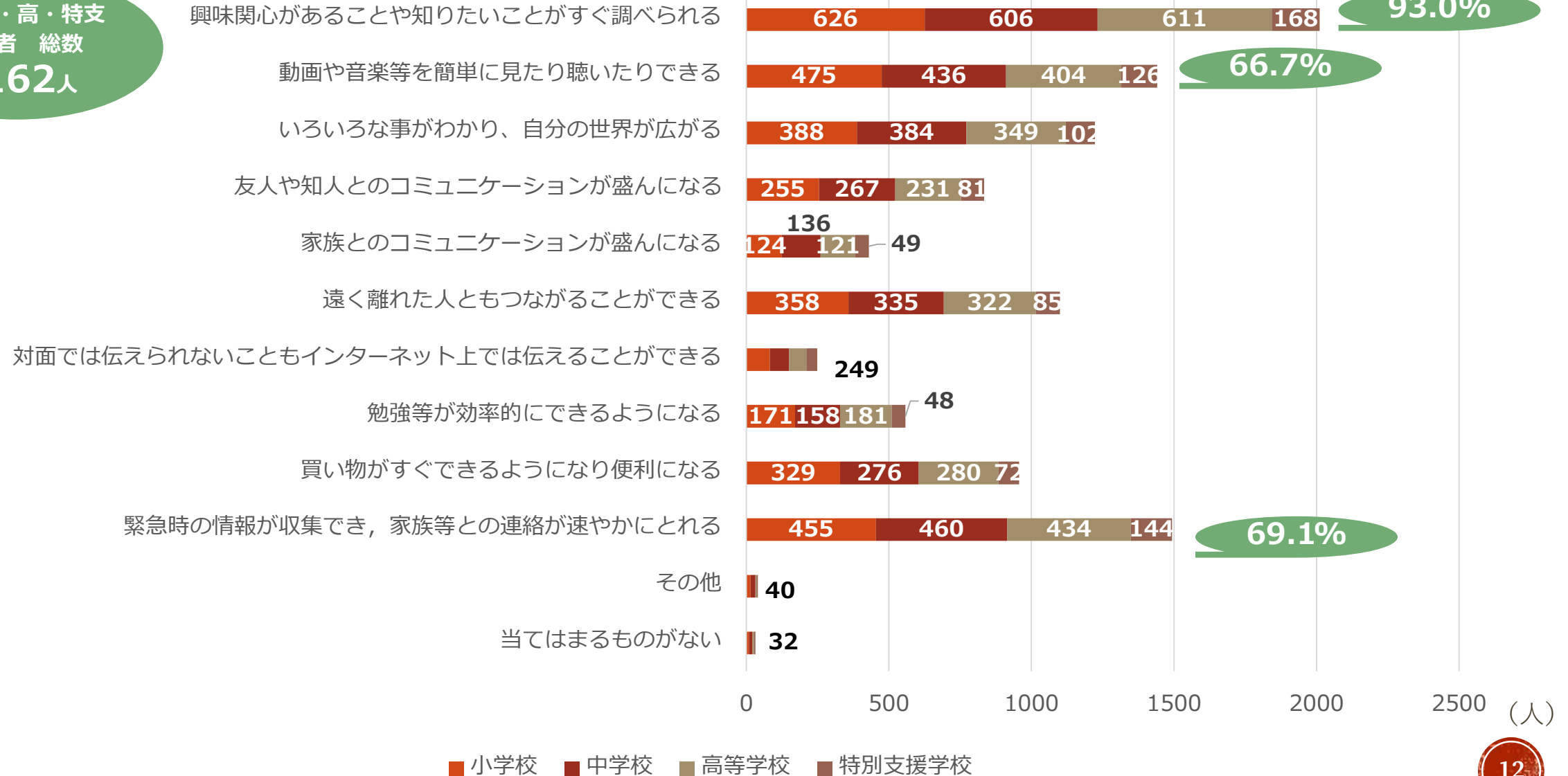


インターネットの危険性の内容（＊複数回答可）



インターネットの利点（＊複数回答可）

小・中・高・特支
保護者 総数
2162人



安全利用のために保護者としてすべきこと①【主な記述内容】

小学生保護者

- コミュニケーションをとりながら正しい知識を伝えていく
- 保護者も正しい知識を身に付ける（フィルタリング設定,課金,アプリ取得等）
- 必要に応じて使用の判断をする
- フィルタリング等を常にアップデートできるように理解しておく
- 子どもとの信頼関係をもとに管理する
- 親の前で利用させる
- 危険性を何度も教える
- 利用について親も責任をもつ
- 正しく利用できるよう保護者として見守っていく（利用時間,場所,ルール等）

中学生保護者

- 子どもとコミュニケーションをとりながら使い方を管理する（課金,アプリ,閲覧履歴等）
- フィルタリングの設定をする（課金,アプリ等）
- 利用時間等を子どもと相談しながら決める
- ワンクリックやフィッシング等の詐欺サイトを見極める
- メリット・デメリットを理解させる
- アプリなどのインストールを管理する
- 利用についてのルールを守らせる
- 子どもの表情やコミュニケーションから利用状況を把握する
- 危険なネットにつながらないようにさせる
- 依存症にならないようにスマホを使用しない時間を確保させる

安全利用のために保護者としてすべきこと②【主な記述内容】

高校生保護者

- 正しい使い方を話し合う
(課金,有料サイトへのアクセス等)
- 子どもの表情やコミュニケーションから利用状況を把握する
- 長時間利用にならないようにする
- 利用についてのルールを守らせる
- メリット・デメリットを理解させた上で利用させる
- スマホを使用しない時間の確保
- 利用時間を子どもと相談して決める
- ワンクリックやフィッシング等の詐欺サイトを見極める
- 保護者もネットについての知識を身につける

高等部生保護者

- 正しい使い方を何度も教える(時間,マナー等)
- 安全面に関するルールをつくる
- 保護者も正しい知識を身につける
- 利用に際しての危険性を教える
- コミュニケーションをとりながら家庭でルールをつくる
- 個人情報の取扱いについて教える
- 決められた時間だけ利用させる
- 使用目的を明確にさせる
- スマートフォンをなくしたり貸したりしないよう気をつけさせる
- オンラインゲーム等で知らない人とつながらないように注意させる